

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【社会（公民的分野）】

1 採択教科用図書

- 日本文教出版

2 採択理由

（1）日本文教出版は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、「見方・考え方」を働かせる「アクティビティー」コーナーなどで課題を追究し、最後に、学習内容の理解を確かめる「確認」「表現」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、すべての本文ページに学習課題の解決に向けた「見方・考え方」が示されたり、イラストをふまえて協働的な学びを行う「学び合い」アイコンを設けたりするなどの工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、イラストなどを活用し、見通しをもって学習に取り組める単元構成であり、新しい事例や、生徒が身近に考えられる事例を取りあげるなどの工夫が見られる。

（2）日本文教出版は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 地域の特色や生徒の実態を考慮すると、「学習のはじめに」の特設ページにおいて資料やリード文を使うなど、生徒が政治や経済を身近に感じることができるよう工夫している。
- 自分の住む地域の防災についても考えられるよう、東日本大震災での自助・地域における共助・行政による公助について、それぞれの事例や意義を取り上げるなどの工夫が見られる。
- 「チャレンジ公民」という探究的な学習ページを設定し、「自分たちの町の首長を選ぼう」というテーマで学習を深め、総合的な学習の時間の「まちづくり」等に関する学習につなげていけるような工夫がなされている。

椎葉村教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、日本文教出版の教科用図書が最適であるとして採択した。